臨床研究内容 ホームページ公開用

1. 研究課題名称

包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）に対する外科的血行再建術後の入院関連機能障害（HAD）が2年後の生存および救肢生存に及ぼす影響

2. 研究の背景・目的

包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）は、安静時痛や潰瘍・壊死を伴い、血行再建術を必要とする病態です。これらの患者は入院中の身体活動量低下による入院関連機能障害（HAD）を惹起しやすく、これが予後不良因子となる恐れがあります。

本研究の目的は、CLTI患者に対する外科的血行再建術後のHADの発生が、患者の2年全生存（OS）および2年救肢生存（AFS）に関連があるかを検討することです。

3. 対象者および対象期間

2011年4月から2023年12月までの期間に当院で外科的血行再建術を受け、生存退院し、かつ入院中の大切断を回避したCLTI患者様が対象です。

4. 研究内容

対象症例の患者背景・一般身体所見、合併症・既往症、各種検査データ、術後経過などを登録し、後ろ向きに解析します。

5. 個人情報の管理について

データの集計の際は患者名を匿名化し、個人を特定できないように配慮します。

6. 研究期間

許可日より開始します。終了時期は2030年12月31日です。

7. 医学上の貢献

本研究により、HADがCLTI患者の術後2年OSおよび2年AFSの独立した予測因子であることが示されれば、外科的治療のみならず、周術期の理学療法によるHADの予防が、患者の生命予後および救肢予後の改善に寄与する可能性を示唆できます。

8. 研究機関

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部

9. 連絡先（研究責任者）

上記研究対象期間において該当になる方で研究に対して不都合がある場合や研究に対してご不明な点がございましたら下記の連絡先まで連絡をください.

製鉄記念八幡病院リハビリテーション部 島添裕史
805-8508 北九州市八幡東区春の町 1-1-1
TEL:093-671-9318（平日 9:00～17:00）